

令和6年度 学校評価保護者アンケート(全学年)集計結果

1 1月下旬にFormsで実施した保護者アンケートに、62名の保護者の皆さんからご回答いただきました。お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、令和4年度、5年度の結果と照らし合わせてお知らせします。全体として昨年度までと同様の結果となりました。「3 学校は期待に込めているか」「4 学校の取組」については、これまでより肯定的な回答の割合が高くなっており、学校の取組をご理解いただいているものと考え、ありがたく思っています。このアンケート結果について教職員間で共通理解を図り、3学期及び来年度の学校経営に生かしていきたいと思っております。

□ 1 お子さんのふだんの様子

「②親が言わなくても自分から勉強している」「⑤あいさつを元気よくしている」「⑥礼儀正しい言動ができています」がこれまでより高くなっています。また、「⑦規則正しい生活習慣が身についている」は90%となっていますが、体調不良を訴えて保健室を利用する生徒数は以前より多くなっています。夜遅くまでSNSやゲーム等で睡眠不足、という生徒も多いようですので、引き続きご家庭でのお声掛けをよろしくお願ひします。読書や自転車の乗り方については指導の充実を図ります。

□ 2 ご家庭で、お子さんの教育について重視していること

これまで同様、四つの項目全てを重視しているという結果となりました。これらのごとについて、引き続き全教育活動の中で意識的に育成を図っていききたいと思っております。

□ 3 学校では、次のことについて期待に込めているか

全ての設問で92%以上の肯定的な回答をいただきました。特に「①教科の学力をのばす」が昨年度比で+17%、「④将来の進路や職業を考えさせる」が+10%、「⑤体力やスポーツの能力を向上させる」が+14%となりました。昨年度の秋田県学習状況調査で好成績を収めたこと、キャリア教育の取組、体育的行事及び水曜日の朝の「からだづくりタイム」などの取組を評価していただいたのではないかと考えています。

□ 4 学校の取組具合

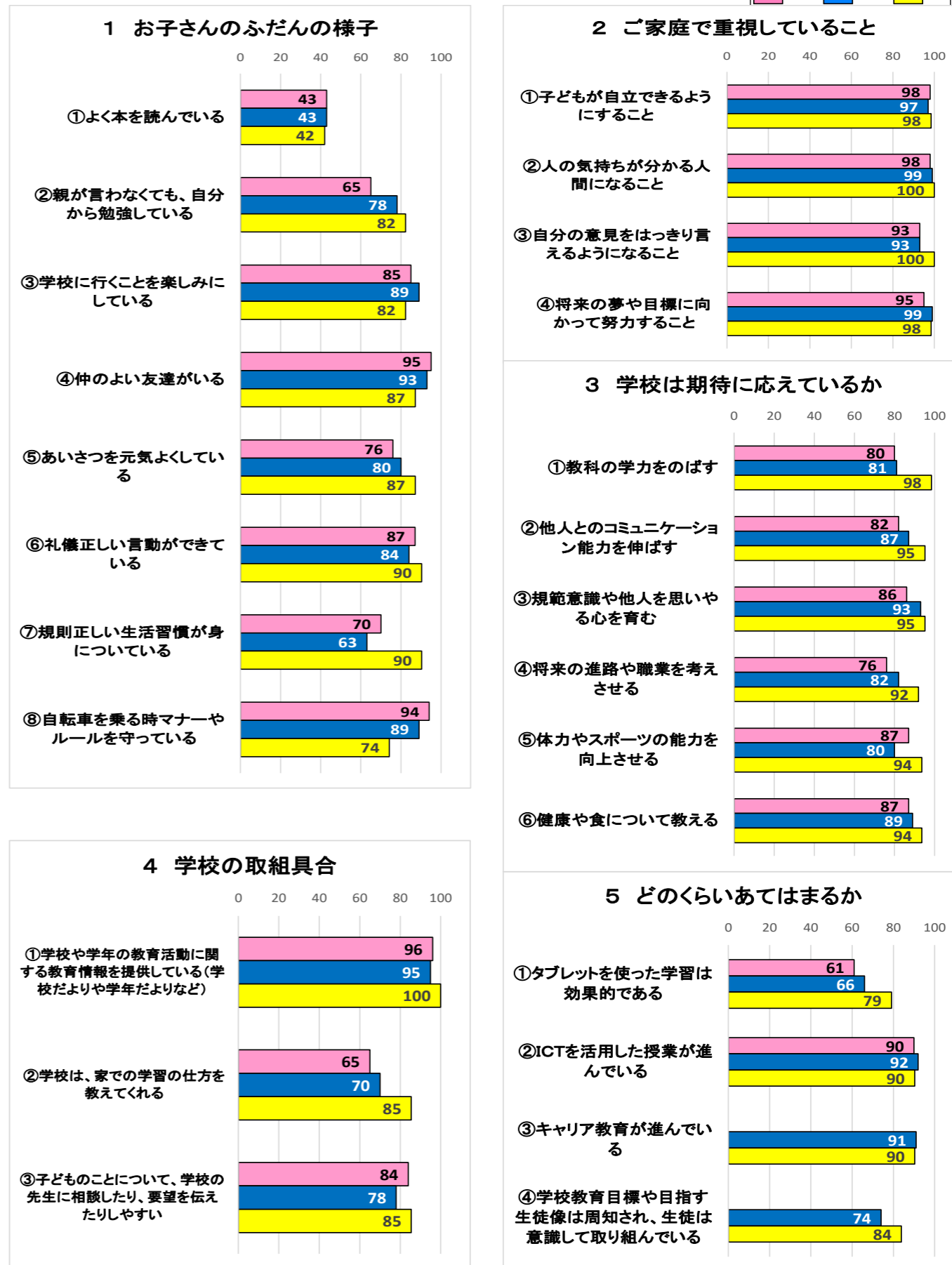
「①学校や学年の教育活動に関する教育情報を提供している」では、今年度は100%と高い評価をいただきました。今後も地域と共にある学校を目指し、情報発信に一層努めたいと思っております。「②学校では、家での学習の仕方を教えてくれる」については、これまで低い数値でしたが、昨年度比で+15%となりました。今後も一人一人の個性に応じた支援を継続していききたいと思っております。「③子どものことについて、学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい」は改善の余地があります。相談しやすい雰囲気づくりを一層進めていきますので、何か相談事等ありましたら、担任や学年部、養護教諭など、話しやすい職員に遠慮なくお話しください。

□ 5 どのくらいあてはまるか

「①タブレットを使った学習は効果的である」は昨年比+13%となりました。本校はICT活用が進んでおり、タブレット端末や電子黒板等を効果的に活用し、生徒の学力向上を図っています。生徒たちは、タブレット端末を文房具の一つとして使いこなしているように感じています。今後もデジタルとアナログのそれぞれのよさを活かしながら、ICTの効果的な活用を進めていきます。「④学校教育目標や目指す生徒像は周知され、生徒は意識して取り組んでいる」は+7%となりましたが、84%という数値にとどまっています。昨年度より周知は進んでいるものの、まだまだ不十分だと反省しています。今後も、学校教育目標や目指す生徒像と照らし合わせながら、「今行っている活動の目的は何か」を常に意識して取り組むことができるよう、手立てを工夫していききたいと思っております。

令和6年度 学校評価保護者アンケート(全学年) 集計結果

肯定的な回答(1:あてはまる+2:どちらかといえば、あてはまる)の割合(%) ■ R4 ■ R5 ■ R6



□6 部活動の在り方について（一部抜粋）

《賛成意見》

- ・部活動に関しては先生方の負担が大きいと聞いているので、地域クラブに完全移行し先生方の負担が少しでもなくなる方が良いです。
- ・先生の負担が大きく、地域移行という考えには賛成する。その流れが自然だと思いが、学校生活と併せて見てもらえるのが、先生が顧問である良さだとも思う。

《概ね賛成（仕方ない）だが…》

- ・いずれは完全移行しなければならないと思います。大潟村のような小規模自治体で、どのような在り方がベストなのかがまだわからないので、住民にオープンな形で協議していただきたいです。
- ・楽しむための部活であれば地域移行も問題ないかと思いますが、大会で上位を目指すとなると難しくなってくると思います。個人的には楽しむためでも良いと思います。何を部活動の目標とするかで変わってくると思います。また地域に移行すると言ってもそれを担う人が地域にいるのかも問題だと思います。

《部活動の継続を希望》

- ・部活動はこれまでどおり学校にまかせたい。
- ・先生方の負担を減らす事には賛成です。先生には休みを取っていただきながら部活動を継続してほしいです。地域クラブに移行する場合は、教育委員会の管轄の元運営し、指導してほしいです。
- ・部活動に関わる先生方の負担はとても大きいと感じます。一方でその指導力は他では代えがたいものがあると思います。地域への完全移行となると良い指導者が見つかるのか不安です。
- ・大潟の部活動は、スポーツを通して子どもたちの人間育成もしてくださるので、素晴らしいな、と思います。昨今クラブチームや、習い事等を選択する生徒がいる中で、目標や取り組み方、また学校での生活態度も様々です。部活動、クラブチーム、習い事、一括りにするのではなく、個の頑張りを引き続き、応援していただけたらありがたいです。

《検討が必要》

- ・剣道部は、お忙しい中でも常に学校と地域の先生が連携して指導してくださるので、大変ありがたく思っております。また、文武両道しやすいように配慮してくださるので、安心して部活動に打ち込んでいると思います。地域移行や練習時間については、他地域と練習量に差があると不安になります。県内で足並みを揃えてもらえれば…と安心してしまいます。
- ・一部の地域で偏った人集めが問題になっているようです。何らかの制限が必要かと思えます。
- ・親の労働スタイルや収入によって、子どもが参加したくても参加できない子が出てくる。
- ・今後生徒数が減少し、他校との合同チームやクラブチーム所属の子どもが増えると思うが、送迎ができないから子どもが入れないなどのことがないようにしてほしいと思う。勉強と部活を両立しての中学校生活であると思うし、精神的、身体的に成長する時期であるから、子どもが、入りやすい環境を整えて欲しいと思う。

《要望、質問等》

- ・部活動への入部を強制しないでほしい（何部にも所属しないと応援団に入部させるのもやめてほしい）。強制にするなら運動が苦手な子が入れる文化部を作ってほしい。
- ・冬場は特に下校を早めてくれたら親としては助かります。
- ・地域クラブに移行した際は、現在学校外でのクラブや習い事で活躍する生徒と一緒に、そこに所属する生徒の活躍など学校関係の広報やお便りには全く掲載されないことになるのですか？

○部活動の地域移行に関して、様々なご意見をいただきました。地域移行をスムーズに進めていくためには、多くのハードルがありますが、村教育委員会、保護者の皆さん、地域の皆さんと共に、生徒のよりよい成長のためにどうあればよいかを考えていきたいと思えます。

○要望や質問に対してお答えします。現在、本校の部活動は全員加入制ではありません。激励会のときには部活動に参加していない生徒に応援をお願いしていますが、強制ではありません。断りにくい雰囲気があるかもしれませんが、来年度は一人一人に意思を確認した上で取り組むようにしたいと思います。また、部活動の地域移行という流れがある中、新しい部活動をつくることは難しいと考えています。11月から3月までは、完全下校が18:30となっています。他校の状況を確認し、もう少し早めることができないか、検討したいと思います。地域クラブに移行後の広報や激励会などについては、まだ何も決まっています。今後検討していく予定です。

□7 子どもたちの校内外の生活について、良いこと又は気になること（一部抜粋）

- ・登下校時、しっかりと挨拶の出来る生徒が多く、とても良いと思う。
- ・いつも、先生方には、丁寧なかかわりや配慮をしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。公民館などで自主的に学習している姿に感心します。
- ・先生方が連携をとられていて、多方面から長い目でサポートしてくださっているのが伝わってきます。心から感謝しています。
- ・髪の毛が長い生徒の髪型について、編むか束ねるようにと記載されているのに、おだんごはダメというのはやめてほしい。自転車登校を許可してほしい。休み時間が短いのに、3分前着席だと係の仕事もあるためトイレに行く暇がない。貸与されているパソコンの充電を学校でもできるようにしてほしい。時間割がほしい。学校の校則を文書にして、全員に配ってほしい。

→11月19日の朝、生徒会執行部、生活委員会が主催した集会で、服装や髪型のきまりについて記載したプリントを配付して生活委員長が説明し、全校生徒でその内容を確認しています。本校への通学はほとんどの生徒が徒歩20分以内で可能だと思います。運動不足という指摘もありますので、徒歩での通学を継続したいと思います。タブレットは毎日持ち帰りを基本とし、家でも活用するよう指導しています。導入初期の確認事項に従い、充電はご家庭でお願いします。また、本校は、自習時間をなくすため、頻繁に授業交換をしていますので、時間割どおりにはいかないことが多くあります。次週の時間割を学年通信でお伝えしますのでご了承ください。休み時間の使い方については、再度各学級で話し合うようにしたいと思います。

- ・規範意識は重要ですが、下着の色の指定については行き過ぎている気がして、子どもへの説明に困っています。その他についても、他県の学校の取り組みをテレビで観ましたが、校則の見直し等生徒たちが意見を出し合う場が大切にされていて、規範意識と共に自立性や協調性が育まれる良い機会だと感じました。ご検討をお願いします。

→下着については、ワイシャツやブラウスを着用したときに柄や色が透けて見えないように、という視点で指導しています。個性や表現の自由は尊重しますが、学校はおしゃれを楽しむ場ではないと考えています。ご理解をお願いします。

- ・Instagramに投稿している村の友達が多く、びっくりします。娘には見るだけ、という約束をしていますが、少し気になっています。
- ・仲の良い友だちは携帯電話や個人のタブレットを持っていて、LINEをしているから、自分も欲しい。もし持たせたとしても、家での約束事は作ると伝えましたが、みんな自由にやっているから嫌だと言われ困りました。その家の考え方の違いだと思いますが、まだ中学生なので、“夜は何時まで”や“寝る時は保護者が管理”など、帰宅時間と同じ決まりがあったらいいなと思います。

→携帯電話等は、フィルタリングを利用するとともに、使い方についてきまりを定めてください(白鳥No.5参照)。親の責任の下で安全に使用させるようお願いいたします。

- ・朝学習の時間など先生が不在になると立ち歩いておしゃべりをする特定の女子がいるそうです。注意したくても注意した後の態度を考えると誰も注意できないとのことでした。他のことで先生から指導があると、先生に話したのは誰？と探すような発言もあるようです。クラスの生徒では対応できないと思います。先生の協力が必要です。
- ・息子が周りの生徒の言動や振る舞いで不快な思いをすることが続いている。
- ・タブレットなど多様な学習スタイルが選択できる現在、宿題としての家庭学習はノートを埋めることが目的となり、受験を控える3年生には不要ではないでしょうか。

→いただいたご意見について真摯に検討し、対応したいと思います。